

日本薬学会 第124年会 ランチョンセミナー

■ 日時 平成16年3月30日(火) 12:30~13:30

■ 場所 ハイアット・リージェンシー・オーサカ
ボールルームC (F会場)

「薬剤師のためのサプリメントセミナー」

座長

篠塚 和正先生

武庫川女子大学 薬学部 教授

わが国ではセルフメディケーション、とりわけサプリメントに対する関心が非常に高まっているが、適正な選択や医薬品との併用に関する情報提供は十分とはいえない。このような状況下でサプリメントの正確な情報を提供できる存在は薬剤師であり、その役割は大きい。本講演では、国民の健康に深く関わっている薬剤師に向けて、サプリメントに造詣の深い先生方よりお話を頂く。

講演1:「サプリメントと薬剤師の係り」

東邦大学医学部医学科 教授 橋詰 直孝先生

医学は20世紀に飛躍的な進歩を遂げ、そして専門が細分化された。薬剤師には高度な薬学的な知識と技術が要求され、患者が人間であることを忘れかけられていた。21世紀にはその反省から全人的な医療が求められるようになり、そしてチーム医療の時代となりつつある。病院薬剤師はチーム医療の一員として活躍する時代となった。サプリメントは全人的医療を行なう一つの手段であり、臨床薬理的な考え方が必要なものである。したがって、薬剤師は積極的にサプリメントと取り組む必要があると考え、サプリメントの現状について述べる。

講演2:「サプリメントと薬の相互作用」

医薬情報研究所(株)エス・アイ・シー 医薬情報部門責任者 堀 美智子先生

食事やサプリメントから摂取する栄養素は、薬の吸収や代謝、排泄を変化させ、その作用に影響を及ぼす可能性がある。また、薬も栄養素の吸収や排泄に、影響を与える可能性がある。そのため、ある種の薬を服用している場合、特定の栄養素が不足する可能性は充分起こりうることである。そこで、医薬品と食品(栄養素)との飲み合わせについて、併用に注意を要するケース、栄養素を補う必要があるケースなどを解説する。

共催

日本薬学会第124年会

株式会社ファンケル